

## 12.2 発生する衛生リスク

### 1) 下水管渠被災により発生する衛生リスクのイメージ

下水管渠の被災により、管渠が閉塞（破断・土砂の流入）した場合、流入してくる汚水が地表面に溢水・滞留し、次のような不衛生な状況に陥る危険性が想定される。

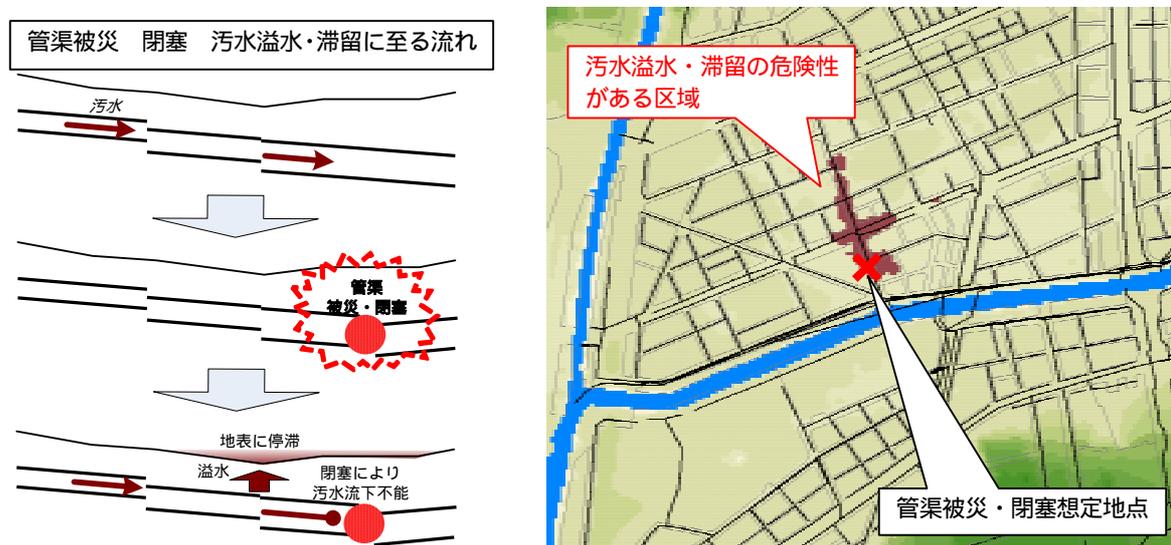


図 12.4 管渠閉塞による汚水溢水・滞留のイメージ

### 2) 被災により被害を受けやすい管渠

地震による下水管渠の被災予測は、土質の状況、管渠の劣化度、施工状況等多くの要素に熟慮して行う必要があるが、本ケーススタディでは、以下の条件により地震時に被害を受けやすいと予想される管渠の分布を概観することとした。

- 設置からの経過年数：50年以上
- 土被り：2.5m未満（新潟県中越地震被害調査を参考）

上記条件により抽出された下水管渠は以下のとおりである。